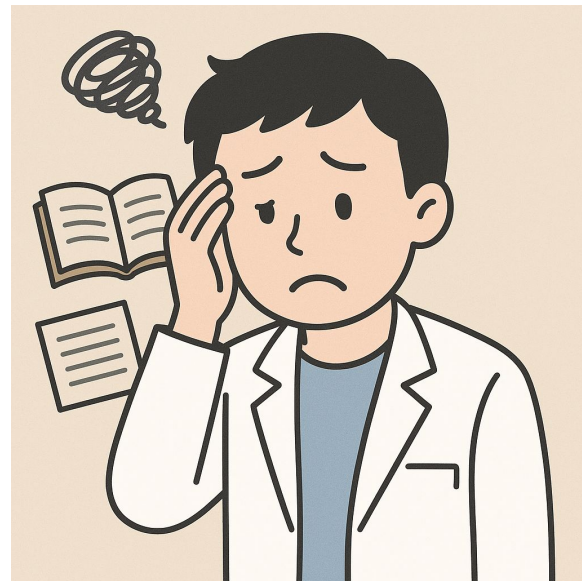


研究の情熱を、 説得力ある言葉へ。

“読まれる申請書”を、
誰でも書けるように。



誰もが抱えている、3つの壁。



どう書けば伝わるのか... それが一番わからない。



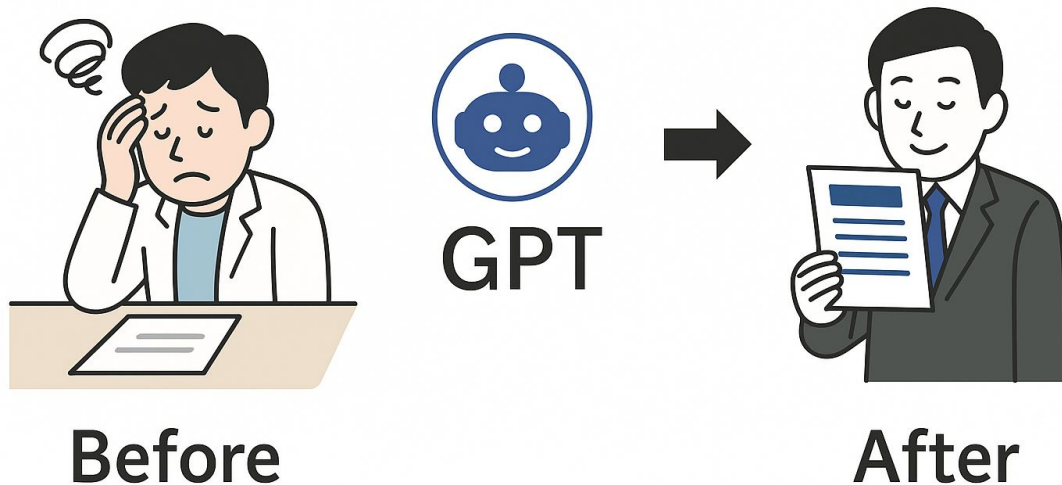
初めての申請。何を書けばいいのか、誰も教えてくれなかった。



1本1本、手で直す。それだけで一日が終わる。

このAIが、“読まれる申請書”を導きます

- 科研費(JSPS)応募要領に特化
- 研究目的・計画・社会的意義を自動生成
- 入力内容に応じて追加質問し、審査員に響く文章に仕上げる



このAIができること



書けない理由は「質問」で解決する



科研費しか見てない。
だから“通る書き方”ができる。



研究目的・社会的意義..
全部AIが整えてくれる。



曖昧な言葉を、審査員に響く表現に変換する。



理工系の専門用語にも完全対応。
安心して任せられる。

こんなとき、助けになる



アイデアはある。でも言葉にならないときに。



書いたけど、これで伝わるか不安なときに。



複数人の共同執筆、バラバラ感が出たときに。



締切前、時間がない。それでも提出しなきゃ。